

# 心あたったか秋

雨よりの日から、草むらや庭の片隅で秋の虫たちが急ぎにぎやかになりました。

猛暑者と残暑者の夏ともお別れです。

八月九日の第三十四回松の実運動会では、総このお子たちへの「金メダル」作りが開始。当日のあふれるお大顔とあたたかい拍手の応援、本場におりがとろごいしました。

「まだ運動会やりたーいー」「リレーするー」と言い合ってきた子どもたちは、席したエネルギーをさっくり「おじいちゃんおばあちゃんありがとりの集い」に注いでくれました。

運動会当日、大人が目から見ると、お怒りや気後れに見え、ハッパをかけた方もあり、ただようでおか子どもの育ちは楽しみ待っていた行事の後が大きいのです。

子どもは目には見えぬ心の中で憧れを持ちたり、やまごみだいたかかへんぼこみよとする思いを押し、またせこいののです。

面白かった！！楽しかった！！可愛かったね♡カッコーイイ！！みんなで力を合わせてやり遂げた。という連帯感と充実感、人間として希望と持ちこたえる力の糧になつていくのです。

このような心の動きをしっかりと受け止めあげるのが大人の役割。子どもの胸には、いつだって「金メダル」が秘められてるのであるから。

生まれる時に、お父さんお母さんからいただくべき「金メダル」です。子どもたちは話してくれました。「パパもママも先生もがんばった！！」「おじいちゃんおばあちゃんと一緒に楽しかった。」

運動会を節目に、子どもたちの心には、敬意と信頼感と思いやりが満ち満ちて来ている。子どもは心と意欲を、能く度

言葉で表わし、生かしていきけるように丁寧な保育を続けたいと思っております。

九月二十六日の「おじいちゃんおばあちゃんありがとりの集い」には九十四名ものご参加をいただきました。有難うございました。

ご案内は、保護者様あてにお願ひしましたのに、遊戯室いっぱいのおじいちゃんおばあちゃんにお会いすることが出来ず、ご家族の次世代へかける愛と絆の強さを運動会に引き継ぎ、感動をもたせて受け止めていただきました。

朝夕は冷え冷えとした風が爽りますが、おかげさまで心は殊更にあたたかい秋を迎えています。

園長 福田孝子